

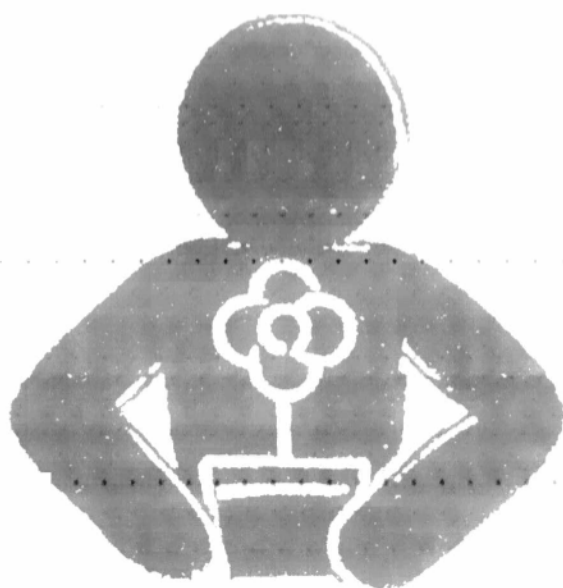
# 中・上級を教える





# 中・上級を教える

国際交流基金 著



# 国際交流基金 日本語教授法シリーズ

【全14巻】



第 1 巻 「日本語教師の役割／コースデザイン」



第 2 巻 「音声を教える」 [CD-ROM付]



第 3 巻 「文字・語彙を教える」



第 4 巻 「文法を教える」



第 5 巻 「聞くことを教える」 [音声ダウンロード]



第 6 巻 「話すことを教える」



第 7 巻 「読むことを教える」



第 8 巻 「書くことを教える」



第 9 巻 「初級を教える」



第 10 巻 「中・上級を教える」



第 11 巻 「日本事情・日本文化を教える」



第 12 巻 「学習を評価する」



第 13 巻 「教え方を改善する」



第 14 巻 「教材開発」

## ■はじめに

国際交流基金日本語国際センター（以下「センター」）では1989年の開設以来、海外の日本語教師のためにさまざまな研修を行ってきました。1992年には、その研修用教材として『外国人教師のための日本語教授法』を作成し、主に「海外日本語教師長期研修」の教授法の授業で使用してきました。しかし、時代の流れとともに、各国の日本語教育の状況が変化し、一方、日本語教授法に関する研究も発展したため、センターの研修の形や内容もさまざまに変化してきました。

そこで、現在センターの研修で行われている教授法授業の内容を新たにまとめ直し、今後の研修に役立て、また広く国内外の日本語教育関係のみならずにも利用していただけるように、この教授法シリーズを出版することにしました。この教材の主な対象は、海外で日本語教育を行っている日本語を母語としない日本語教師ですが、広くそのほかの日本語教育関係者や、改めて日本語教授法を独りで学習する方々にも役立てていただけるものと考えます。また、現在教師をしている方々を対象としていますが、日本語教育経験の浅い先生からベテランの先生まで、できるだけ多くの方々に利用していただけるよう工夫しました。

## ■この教授法シリーズの目的

このシリーズでは、日本語を教えるための必要な基礎的知識を紹介するだけでなく、実際の教室で、その知識がどう生かせるのかを考えてもらうことを目的としています。

国際交流基金日本語国際センターでは、教師の基本的な姿勢として、特に次の能力を育てることを目的として研修を行ってきました。その方針はこのシリーズの中でも基本的な考え方となっています。

### 1) 自分で考える力を養う

理論や知識を受身的に身につけるのではなく、自分で考え、理解して吸収する力を身につけることを目的とします。

### 2) 客観性、柔軟性を養う

自分のこれまでの方法、考え方にとらわれず、ほかの教師の意見や方法を知り、客観的に理解し、時には柔軟に受け入れることのできる教師を育てることをめざします。

3) 現実を見つめる視点を養う

つねに現状と与えられた環境、自分の特性や能力を客観的に正確に把握し、自分の現  
場に合った適切な方法を見つける姿勢を育てることをめざします。

4) 将来的にも自ら成長できる姿勢を養う

研修終了後もつねに自分自身で課題を見つけ、成長しつづける自己研修型の教師を育  
てることをめざします。

■この教授法シリーズの構成

このシリーズは、テーマごとに独立した巻になっています。どの巻からでも学習を始  
めることができます。各巻のテーマと概要は以下の通りです。

|        |                  |   |                                         |
|--------|------------------|---|-----------------------------------------|
| 第 1 卷  | 日本語教師の役割／コースデザイン | } | 日本語を教えるうえでの全体的な<br>問題を取りあげます。           |
| 第 2 卷  | 音声を教える           |   |                                         |
| 第 3 卷  | 文字・語彙を教える        | } | 各項目に関する基礎的な知識の整理をし、<br>具体的な教え方について考えます。 |
| 第 4 卷  | 文法を教える           |   |                                         |
| 第 5 卷  | 聞くことを教える         |   |                                         |
| 第 6 卷  | 話すことを教える         |   |                                         |
| 第 7 卷  | 読むことを教える         |   |                                         |
| 第 8 卷  | 書くことを教える         |   |                                         |
| 第 9 卷  | 初級を教える           | } | 各レベルの教え方について、総合的に考えます。                  |
| 第 10 卷 | 中・上級を教える         |   |                                         |
| 第 11 卷 | 日本事情・日本文化を教える    |   |                                         |
| 第 12 卷 | 学習を評価する          |   |                                         |
| 第 13 卷 | 教え方を改善する         |   |                                         |
| 第 14 卷 | 教材開発             |   |                                         |

## ■この巻の目的

かん もくてき

この巻の目的は、主に海外の日本語の授業で、「中級」「上級」というレベルをどのように考え、どのように授業を設計すればよいかを考えることです。

この巻の目標は、以下の3点です。

かん もくひょう い か

- ①「中級」「上級」とは、どのようなレベルなのかを考えます。
- ②「中級」「上級」では、何を教えればよいかを考えます。
- ③「中級」「上級」の力を養成するための活動や練習が、それぞれどのような目的で行われているかを分析します。そして、授業では、どのような順番で、どのような活動や練習をすればよいのかを考えます。

## ■この巻の構成

かん こうせい

### 1. 構成

こうせい

本書の構成は以下のようになっています。

こうせい い か

#### 1. 「中級」「上級」とは

- \* レベル記述の観点を整理します。  
きじゆつ かんてん せいり
- \* 「課題」達成を中心に能力基準を考えます。  
たっせい のうりよく じゆん

#### 2. 「中級」「上級」の授業で教えること

- \* 「課題」を達成するために必要な能力とは何かを考えます。  
たっせい ひつよう のうりよく
- \* 「課題」達成に必要な能力を実際に課題に基づいて分析します。  
たっせい ひつよう のうりよく じっさい もと ぶんせき

#### 3. 「中級」「上級」の教え方

- \* 「内容重視」「インプットからアウトプットへ」「多技能統合型の授業デザイン」「流暢さの養成」という4つの観点をもとに、具体的な活動や練習を分析します。  
ないようじゆし たぎのうとうごうがた りゆうちよう じやうせい かんてん ぐたいてき ぶん
- \* 効果的な授業の流れを考えます。  
こうかてき なが

#### 4. 「中級」「上級」の授業の実際

じっさい

- \* 「中級」「上級」の多技能統合型の授業例を紹介します。  
たぎのうとうごうがた じやうかい

2. 各章の課題（【質問】）

この巻の中の各課題（【質問】）は、それぞれ次のような内容に分かれています。

 ふり返りましょう

自分自身の体験や教え方をふり返る

 考えましょう

「中級」「上級」の教え方について与えられた条件のもとで考える

 やってみましょう

実際に活動などの計画を立ててみる

 整理しましょう

そこまでに考えたこと、学んだことをもう一度ふり返って整理する



# 目次

|          |                                 |    |
|----------|---------------------------------|----|
| <b>1</b> | 「中級」「上級」とは                      | 2  |
|          | ちゅうきゅう      じょうきゅう              |    |
| 1-1.     | 「初級」「中級」「上級」を分ける基準              | 2  |
|          | き      じゅん                      |    |
| 1-2.     | 「課題」遂行を中心にした能力基準                | 5  |
|          | すいこう      のうりょく      き      じゅん |    |
| 1-3.     | 「中級」「上級」とは ～ 「課題」遂行の観点から～       | 12 |
|          | すいこう      かんてん                  |    |
| <b>2</b> | 「中級」「上級」の授業で教えること               | 18 |
|          | ちゅうきゅう      じょうきゅう      じゅぎょう   |    |
| 2-1.     | 「中級」「上級」のコースデザイン                | 18 |
| 2-2.     | 「課題」遂行のコース目標                    | 20 |
|          | すいこう      もくひょう                 |    |
| 2-3.     | 「課題」遂行を中心にしたシラバス                | 22 |
|          | すいこう                            |    |
|          | (1) 「話題・場面」                     |    |
|          | わ      だい      ば      めん        |    |
|          | (2) 「到達目標」と「教室活動」               |    |
|          | とうたつ      もくひょう                 |    |
|          | (3) 言語知識や能力                     |    |
|          | ち      しき      のうりょく            |    |
| 2-4.     | 「読む」活動と言語知識や能力                  | 35 |
|          | ち      しき      のうりょく            |    |
|          | <b>コラム</b> 語彙のレベル判定             |    |
|          | ご      い      はんてい              |    |
| 2-5.     | 「聞く」活動と言語知識や能力                  | 40 |
|          | ち      しき      のうりょく            |    |
| 2-6.     | 「話す」活動と言語知識や能力                  | 42 |
|          | ち      しき      のうりょく            |    |
| 2-7.     | 「書く」活動と言語知識や能力                  | 45 |
|          | ち      しき      のうりょく            |    |
| <b>3</b> | 「中級」「上級」の教え方                    | 48 |
|          | ちゅうきゅう      じょうきゅう              |    |
| 3-1.     | 「中級」「上級」を教えるときの基本的な考え方          | 48 |
|          | き      ほんてき                     |    |
|          | (1) 内容重視                        |    |
|          | ないよう      じゅうし                  |    |
|          | (2) インプットからアウトプットへ              |    |
|          | (3) 多技能統合型の授業デザイン               |    |
|          | た      ぎ      のうとう      こうがた    |    |
|          | (4) 流暢さ (fluency) の養成           |    |
|          | りゅう      ちやう      さん      せい    |    |
| 3-2.     | 多技能統合型の授業デザイン                   | 51 |
|          | た      ぎ      のうとう      こうがた    |    |
| 3-3.     | ウォーミング・アップの活動                   | 53 |

